

生田緑地自然環境保全管理会議ニュースレター

■議事概要

◇日時：令和3年3月10日（水）14時～17時 ◇場所：生田緑地整備事務所2階
 ◇参加者11名 ◇議題：1.令和3.4年度会長、副会長の選出について 2.ニュースレターの在り方について
 3.植生管理計画について 4.カシノナガキクイムシ被害について 5.ナラ枯れとその周辺課題についての連続講演会と倉本先生の位置づけの変更 6.啓発ポスター進捗 7.ばら苑アクセス路保全利用方針の提言について 8.市民部会活動報告 ※赤字の議題を下記でご紹介します。

◎令和3.4年度会長、副会長の選出について

●令和3.4年度の生田緑地自然環境保全管理会議会長及び副会長は令和1.2年度に引き続き
 会長：磯谷達宏先生 副会長：岩田臣生氏 に満場一致で決定しました。

◎ニュースレターの在り方について

●ニュースレターは従来通り会議の内容報告する役割で発行し、それとは別に活動団体の広報に特化した「生田緑地通信（仮）」の発行が指定管理者より提案されました。

協議の結果以下の3点を作っていくことで合意しました。

- 1) ニュースレター 会議毎に自然会議会員以外の人々へ会議の要旨を伝える。
- 2) 生田緑地通信（仮） 生田緑地の自然や活動団体を紹介する広報。
- 3) 議事録 自然会議の内容の摘録（意思決定の流れが分かり、要点をまとめたもの）。

どんな活動団体があるのかな？

どんなコトしてるのかな？

一緒にやってみたいな～

生田緑地の自然って???

生田緑地ならではの
ことって???



生田緑地通信（仮）イメージ



◎植生管理計画について

●未供用地の取り扱いについて生田緑地植生管理計画に記載する件（川崎市より提言。前回から継続協議事項）
 これまで生田緑地植生管理計画には未供用地の取り扱いについての記載がありませんでした。未供用地近隣住民の安全に配慮しながら里山的管理ができるように未供用地の規定を定めることが合意されました。詳しい内容は引き続き自然会議のメール会議で協議することとなりました。

●戸隠不動尊跡地付近における生田緑地植生管理実施プログラム案について（指定管理者より提言）
 No.C-09 ブロック名「戸隠不動尊跡地地区」

ブロックの目標植生

- かつての戸隠不動尊の歴史を後世に伝えるため、イチヨウや桜並木（参道）等の育成に配慮する
- 紅葉及びサクラの景観形成に配慮する
- 見晴台下の斜面地については萌芽更新を繰り返し、明るく眺望を確保した樹林とする。



提案に関していくつかの修正点がありましたが、提言の方針・目標植生について合意を得られました。今後は修正点を反映し、さらに内容を高めた植生管理プログラムシートを作成します。

◎カシノナガキクイムシ被害について

●近年、全国的にカシノナガキクイムシ（カシナガ）が媒介するナラ菌により、コナラ等が集団的に枯損する「ナラ枯れ」が発生しています。生田緑地の被害は2020年8月の調査時点で、フラス確認樹木が中央区324本、初山地区47本でした。（フラスとはカシナガが孔道を掘った木くずや糞などの混ざったものです）

【令和2年度の対応報告】

*ハンノキ林地区＝4本伐採（令和3年2月～3月）*栢形山広場へ向かう園路＝11本伐採（令和3年3月）

*芝生広場上雑木林＝被害木も含め30本程度を里山倶楽部にて伐採（令和2年10月～令和3年3月）

本件に関しては令和2年度第1回自然会議において「指定管理者の対応案に加えて、危険性のない樹木もカシノナガキクイムシの被害を抑えるために、各立場における役割分担を今後検討しながら対策を進めていくこと、また伐採による処理と同時にコナラ林を残す活動も進めるべきであるため、生田緑地における実生苗補植のガイドライン（平成31年3月）に基づいてコナラ（実生木）の移植を検討し実施すること。」と合意しています。今回の会議では、カシナガ被害の対応について全てを一度に対応することは困難であるので、「対応の順位付け」という課題があることを確認し、継続協議としています。また、本件はマネジメント会議で提言され取り扱うことになったことも共有されました。



@栢形山広場得向かう園路

★会議当日、現地で意見交換が行われました。被害木を伐採した後は玉切りにして乾燥させ、カシナガが生きていけないようにします。伐採木の再利用や、伐採後の周囲の植生管理についても意見が交わされました。また、伐採更新を来園者に伝えるのにふさわしい場所についても意見が出され、広く皆さんに伝えることの大切さも確認しました。



@芝生広場上雑木林

★里山倶楽部で伐採更新をしています。写真は伐採後なのでスッキリしていますが、伐採前は込み入っていました。被害木を伐採するために掛り木になりそうな樹木も伐採。チェーンソーは使わず全て手作業です。来園者の安全や通行にも配慮しながら活動しています。活動中ほんの数分、通行止めすることがありますがご協力をお願いします。

◎啓発ポスター進捗

●「生田緑地の環境を守るためのポスター募集」応募締め切り令和3年4月30日

3月10日時点で東生田小学校4年生から19点の応募があり、会議内で紹介されました。東生田小学校の応募者にはポスター作りの感想も書いて頂いています。（下記にいくつかご紹介します。）

磯谷会長から「自然のことを考える上で地域において学校区というのは非常に大事なものだと思います。この課題で学校と連携が深まったのは非常にいいことだと思います。」との感想がありました。

タイトル：『自然が泣いている』

創作後の感想

『自分が喜ぶことをしても裏で自然が泣いているかもしれないよ』という気持ちをこめて作りました。



タイトル：『川崎の宝、生田緑地』

創作後の感想

楽しかったです。生田緑地がきれいになるようにがんばりました。



タイトル：『生田緑地をキレイにしよう』

創作後の感想

4才の時から通っていた幼稚園が近くにあるので気持ちをこめて書きました。



タイトル：『自然を守るため』

創作後の感想

みんなが約束を守らなかつたりして、自然がこわれていくのがいやなのでポスターをかきました。母と話し合いながらやりました。少しでもみんなが気持ちよくできるよう、自分も、かきながら、約束は守ろうと思いました。



タイトル：『どっちがいい？』

創作後の感想

みんなにすてきでかわいい鳥、魚、木、虫を大事にしてほしい、ゴミが落ちていたら拾ってほしいと思いをこめて書いた。ゴミしかない世界か、生き物のいっぱい世界か、よく考えてほしいという思いをこめた。